

## 第三者評価結果の公表事項(児童心理治療施設)

### ①第三者評価機関名

社会福祉法人 山口県社会福祉協議会

### ②評価調査者研修修了番号

平成 15 年全国、SK18265、平成 16 年全国、S2020164、S2020163

### ③施設の情報

名称：山口県みほり学園		種別：児童心理治療施設	
代表者氏名：施設長 渡邊 由美子		定員（利用人数）： 50 名（25 名）	
所在地：山口市大内御堀 5 丁目 2 番 8 号			
TEL：083-922-8605		ホームページ：https://jigyodan-yg.jp/mihori/	
【施設の概要】			
開設年月日 昭和 47 年 7 月			
経営法人・設置主体（法人名等）：山口県社会福祉事業団			
職員数	常勤職員：	28 名	非常勤職員 11 名
有資格 職員数	児童指導員	5 名	看護職員 1 名
	保育士	7 名	管理栄養士 1 名
	セラピスト	5 名	家庭専門支援員 1 名
施設・設備 の概要	(居室数)		(設備等)

### ④理念・基本方針

#### ○基本方針

社会情勢の変化から家族や地域の持つ子育て機能が低下する中で、不登校、児童虐待、発達障害等により心のケアを必要とする児童が急増している。当園においても入所児童の傾向は同様で、被虐待児や、地域、学校、家庭、あるいは児童養護施設で適応が困難となった発達障害児等の入所が増加している。こうした児童を受け入れる児童心理治療施設の役割は益々大きくなっており、失敗体験を重ねてきた児童に対して、自分の目標に向かって生活や学習に取り組めるよう、「その子らしさを大切に」を理念として、職員が一体となって指導・支援に努めている。また、山口県社会福祉事業団第三次中期経営計画（H31～R5）に基づいて、①子どもの立場に立った「選ばれる施設づくり」、②地域から信頼される「地域とともに歩む施設づくり」、③自立的経営を目指す経営の基盤づくりを基本目標として、この目標に基づいて、当該計画及び当該計画を踏まえた年度毎の事業計画の実現に取り組んでいる。

## ⑤施設の特徴的な取組

- ・治療施設として入所児一人ひとりの人権を尊重し、児童自立支援計画の策定に基づき、学習指導、生活指導、心理治療を個人の能力に応じて展開した。また、自主性、自立性を高めるための生活環境を整えると共に、明るい希望に満ちた生活の場づくりに努めている。
- ・発達障害を抱えた児童への支援として、「認知作業トレーニング」や「認知強化トレーニング」に継続して取り組み一定の成果を得ている。
- ・虐待防止の推進を図るため組織的な体制整備を行うと共に研修や委員会を行い、マニュアルの見直しと周知を行った。
- ・アフターフォローとして、児童が退所した後も、児童やその家族の不安や相談に対応できるよう、家庭支援専門相談員が窓口となり、継続的な支援に努めている。
- ・地域のニーズに応える取組としては、外来相談窓口を設置し、地域で不適応や困り感を抱える児童や保護者に、相談や面接を実施している。

## ⑥第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和3年5月11日（契約日）～ 令和4年2月4日（評価結果確定日）
前回の受審時期（評価結果確定年度）	平成30年度

## ⑦総評

### ◇特に評価の高い点

1. 5回目の第三者評価受審である点。そして園長以下、職員一人ひとりが前回の第三者評価結果での課題について理解し、改善できることには取り組まれており、より良い施設運営を目指していこうとする姿勢が伺えます。例えば、食育の向上や衣習慣の充実などしっかりと取り組まれています。
2. 建物は築49年で老朽化していますが、職員が創意工夫しながら、子どもたちが快適に過ごせるように居室や共有スペースの雰囲気づくり、プライバシーへの配慮などの工夫に努力しています。
3. 子どもと職員との間に信頼関係が構築されており、職員は専門性の向上に努力し、子ども一人ひとりの将来を考えた支援をしています。
4. 事前提出資料がたいへん見やすく整理されていました。第三者評価受審への真摯な姿勢が感じられ、好感を持ちました。

### ◇改善を求められる点

1. 事業計画をはじめ、子どもや保護者等に関する治療・支援に関わる事柄については、子どもや保護者等への周知が大事ですが、理解を得ることはさらに大事なことで、よりいっそう工夫・努力していただくことが望まれます。
2. 職員が創意工夫しながらプライバシーの配慮等が行われていますが、建物の構造や設備等の問題で不十分と言わざるを得ません。特に、思春期の子どもであるため、プライバシーに配慮した適切な治療・支援が望まれます。個別の空間の整備や親子関係の再構築支援のための設備整備を期待します。

3. 治療・支援の標準的な実施方法についての見直しはなされていますが、その検証や見直しの時期や方法等の仕組みが組織的に定められ確立しているとするには不十分と思われます。施設において統一した検証・見直しの仕組みの策定が望まれます。

4. 「事業報告」の記述が「事業計画」の文章を過去形にしかただけの表現が多く見られました。毎年度を振り返る事業報告を将来に生かすためにも、実施したこと、不十分だったこと、また未達だったことに関する見解や評価等のコメントを記載していただければと思います。

5. 提出資料No.27に添付されている「苦情解決窓口について」の「方法」の④については、例えば「相談しやすいと思う職員に相談することも出来ます」とするなど、子どもたちにより分かりやすい文言を工夫されてはいかがかと思います。

#### ⑧第三者評価結果に対する施設のコメント

当学園は開設から49年が経過しハード面での老朽化は否めませんが、児童が快適に過ごせるよう創意工夫に取り組んでいます。

また、職員は専門性の向上に努め、心理的に不安定で不適応行動を起こしてしまう児童ひとり一人に向き合い信頼関係の構築を図り、将来を見据えた支援に取り組んでいます。「施設全体を治療の場」とする「総合環境療法」の更なる充実を目指し、今回の受審結果をしっかりと受け止めるとともに、今後も第三者評価の受審を重ねることで課題に向き合い、改善に努めます。

#### ⑨第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。

(別紙)

## 第三者評価結果（児童心理治療施設）

※すべての評価細目（共通評価基準 45 項目・内容評価基準 20 項目）について、判断基準（a・b・c の 3 段階）に基づいた評価結果を表示する。

※評価細目毎に第三者評価機関の判定理由等のコメントを記述する。

### 共通評価基準（45 項目）

#### 評価対象 I 治療・支援の基本方針と組織

##### I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
①	I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a・b・c
<コメント>法人の理念がパンフレットやホームページ、封筒や職員の名刺に記載されており、施設内に掲示もしている。また、職員への周知も園内研修等で図られていると判断し、a 評価とした。		

##### I-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
②	I-2-(1)-① 施設経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a・b・c
<コメント>全国や県の関係団体との連携により、国や福祉の社会情勢を把握している。支援を必要とする子どもの状況についても、各児童相談所から情報収集し、施設の経営状況の把握・分析を行っていると判断し、a 評価とした。		
③	I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	a・b・c
<コメント>毎月の運営会議や園内研修において職員の充足状況等について職員と共有するなど、法人本部との連携の下、施設経営の改善に取り組んでいると判断し、a 評価とした。		

### I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;法人において5年を計画期間とする第三次中期経営計画が策定されている。これにより、中・長期的なビジョンを明確にした計画の策定はなされていると判断し、a評価とした。</p>		
5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;前項の第三次中期経営計画に基づき、単年度計画においても具体的な取組等が策定されていると判断し、a評価とした。</p>		
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;部門ごとに前年度の事業計画の評価・見直しをしながら、次年度の事業計画を検討し、組織全体で策定している。また、策定した事業計画は年度当初に職員全員へ配布し、その周知も図られていると判断し、a評価とした。</p>		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、子どもや保護者等に周知され、理解を促している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;保護者にはホームページや個別の保護者会での周知が図られているが、子どもへの周知の取組は不十分と思われる。また、子どもや保護者の理解を促すための分かりやすくする取組も不十分と判断し、b評価とした。</p>		

### I-4 治療・支援の質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 治療・支援の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;毎年10月に全職員で自己評価を実施し、3年毎に第三者評価調査を受審している。評価結果を組織全体で分析し、分析内容を検討する仕組みが出来ている。PDCAサイクルに基づく治療・支援の質の向上にも取り組んでいると判断し、a評価とした。</p>		
9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき組織として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;組織的に取りまとめた評価結果に基づき、評価会議で改善策を検討し、改善策は中期経営計画等に反映している。改善の取組、見直しも必要に応じて実施されていると判断し、a評価とした。</p>		

## 評価対象Ⅱ 施設の運営管理

### Ⅱ-1 施設長の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 施設長の責任が明確にされている。		
10	Ⅱ-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;管理規程に施設長の役割と責任が明示されており、防災マニュアルには有事における施設長の役割と責任、不在時の権限委譲等が明確化されている。また、それらについて施設長は毎月の園内研修の場で職員に表明し、周知を図っていると判断し、a評価とした。</p>		
11	Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;施設長は研修に参加して遵守すべき法令等についてよく理解するとともに、園内研修等で職員への周知も積極的に図っていると判断し、a評価とした。</p>		
Ⅱ-1-(2) 施設長のリーダーシップが発揮されている。		
12	Ⅱ-1-(2)-① 治療・支援の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;施設長は支援現場での経験が豊富であり、運営会議や園内研修等で治療・支援に関する課題に対して職員に周知を図るとともに、ケース会議に参加し助言を行うなど、よくその指導力を発揮していると判断し、a評価とした。</p>		
13	Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;稼働率は毎月本部に報告し、人員配置や職場環境の整備等についても本部に要望している。予算編成や事業計画等は職員と協議しながら改善計画を策定している。施設長は職員とこうした施設経営やその業務に関する情報共有等を行うなど、経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮していると判断し、a評価とした。</p>		

### Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	Ⅱ-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;管理規程に職種毎の必要な人数、それぞれが担う業務、役割が明示されている。治療・支援に必要な専門職を多数配置し、職業紹介の関係機関や大学等にも働きかけ、現場の状況に対応した必要な人材確保に努めていると判断し、a評価とした。</p>		
15	Ⅱ-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;法人として職員研修実施要綱に期待する職員像が明確にされている。人事評価実施要領が策定されており、自己申告やヒアリングにより人事管理が行われている。こうした</p>		

ことから総合的な人事管理は適切に行われていると判断し、a評価とした。		
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	II-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;法人として職員相談事業実施要領が策定され、相談窓口や相談方法が明確になっている。また、職員の休暇取得状況の把握・分析や両立支援ハンドブックの作成・配布などにより働きやすい職場づくりに取り組んでいると判断し、a評価とした。</p>		
II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	II-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;個別研修計画の策定、個別面談の実施、職員一人ひとりの目標や成果の確認、また施設内外での研修への参加に積極的であるなど、職員育成にはよく取り組まれていると判断し、a評価とした。</p>		
18	II-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;法人の職員研修実施要綱や施設の個人研修計画実施要綱に期待する職員像が明示されている。また、職員一人ひとりの研修計画に基づき、職員の教育・研修が実施され、評価等が行われていると判断し、a評価とした。</p>		
19	II-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修等の機会が確保されている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;全正規職員に対しては年度当初に研修計画を策定し、研修の機会が確保されている。また、OJT研修の一環として新人職員に対してはチューター制度が実施されているなどにより、教育・研修等の機会は確保されていると判断し、a評価とした。</p>		
II-2-(4) 実習生等の治療・支援に関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
20	II-2-(4)-① 実習生等の治療・支援に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;公認心理師、保育士、社会福祉士等、資格別に実習生受入れマニュアルが策定されており、受入れ体制が整備されているとともに、実習生の専門知識の研修・育成に関する体制も整備され、専門職の育成に取り組んでいると判断し、a評価とした。</p>		

### II-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;法人のホームページの活用、定期的な第三者評価の受審、広報紙「にじ」の発行（地域のみほり地区自治会等への配布）等により、運営の透明性の確保のための情報公開によく取り組んでいると判断し、a評価とした。</p>		
22	II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a・b・c

〈コメント〉法人や施設の職務分掌と権限・責任が明確にされ、公認会計士により年2回監査を実施している。外部の専門家による指摘事項には迅速に対応しているなど、施設における事業並びに財務等に関する公正かつ透明性を確保した取組は法人と一体的に、適切に行われていると判断し、a評価とした。

## II-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	II-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a・b・c
〈コメント〉子どもの特性上制約はあるが、子どもたちの個別の状況に配慮しつつ、子どもや施設職員による地域でのボランティア活動への積極的な参加、地域の子供会や老人クラブとの交流行事などがよく行われていると判断し、a評価とした。		
24	II-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a・b・c
〈コメント〉施設の特性上、特定のボランティア団体との交流はあるが、慣れない人との関りが子どもたちの混乱を生むことや守秘義務の観点から、積極的な受け入れは難しく、ボランティア希望の学生については敢えてアルバイトとして雇用の形で子どもと関わってもらっている。ボランティア受け入れマニュアルに基本姿勢や受入れの手順等が明確にされており、体制は構築されていると判断し、a評価とした。		
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	II-4-(2)-① 施設として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a・b・c
〈コメント〉必要な社会資源は緊急時対応ファイルとして一つにまとめられており、職員間で共有されている。児童相談所や原籍校とは定期的に会議を開催するなど、その連携も適切に図られていると判断し、a評価とした。		
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	II-4-(3)-① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	a・b・c
〈コメント〉要保護児童対策地域協議会への参加や外来相談事業等に取り組むことなど、地域の福祉ニーズや生活課題等の把握に積極的であると判断し、a評価とした。		
27	II-4-(3)-② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a・b・c
〈コメント〉実施要領を策定し地域の不登校児等の相談窓口として「みほり学園外来相談」を設置し、電話や対面による相談を受けている。民生委員・児童委員等の見学やふれあいキャンプによる地域交流行事については、コロナ禍により自粛中であるが、地域の福祉ニーズに基づく公益的な事業・活動はよく実施されていると判断し、a評価とした。		



## 評価対象Ⅲ 適切な治療・支援の実施

### Ⅲ-1 子ども本位の治療・支援

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 子どもを尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した治療・支援の実施について共通の理解をもつための取組を行っている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;法人として職員行動規範を定め、理念や基本方針に、子どもを尊重した治療・支援の実施について明示され、毎月の職員会議や園内研修等において職員に共通理解を図っていると判断し、a評価とした。</p>		
29	Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護に配慮した治療・支援が行われている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;「生活の中のプライバシー保護にかかる取扱要領」が整備され、それに基づいた治療・支援が実施されている。しかしながら、施設建物は築半世紀に近く、老朽化の印象は否めない。様々な事情や状況に置かれた子どもたちのこれからこの社会で生きていく意欲を十分に育むためにも、人的にも物的にも質の高い治療・支援環境、居室、浴室等々の生活環境の整備・提供は欠かせない。現状では、子どもたちのプライバシー保護に配慮した治療・支援が行われているとするには不十分と判断し、b評価とした。</p>		
Ⅲ-1-(2) 治療・支援の実施に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	Ⅲ-1-(2)-① 子どもや保護者等に対して治療・支援の利用に必要な情報を積極的に提供している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;ホームページやパンフレットで施設の紹介を行うとともに、入所予定の子どもや保護者には個別の説明を行ったり、希望する場合には見学等に対応しているなど、治療・支援の利用に必要な情報の提供には積極的であると判断し、a評価とした。</p>		
31	Ⅲ-1-(2)-② 治療・支援の開始・過程において子どもや保護者等にわかりやすく説明している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;子どもには治療・支援について、また生活する上でのルールや課題などについて、板書するなどして一緒に考える工夫をし、保護者とは面談を行うなどで、子どもの治療や支援等について分かりやすく説明をし、子どもや保護者の自己決定を尊重し同意を得ている。これらのことにより、子どもと保護者の主体的な意思決定は適切に尊重されていると判断し、a評価とした。</p>		
32	Ⅲ-1-(2)-③ 治療・支援の内容や措置変更、地域・家庭への移行等にあたり治療・支援の継続性に配慮した対応を行っている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;退園から原則として1年間はアフターケアを行うよう要領が策定されており、担当者や窓口が設置されている。また、措置変更となる場合には、児童相談所や措置変更先に情報提供書を作成し、継続した治療・支援の実施に配慮していると判断し、a評価とした。</p>		
Ⅲ-1-(3) 子どもの満足の向上に努めている。		
33	Ⅲ-1-(3)-① 子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取	a・b・c

	組を行っている。	
	<p>&lt;コメント&gt;毎月、部屋・室長会議を開催し、子どもたちの意見や要望を聴いている。会議にはなるべく多くの職員が出席するようにしており、意見や要望に対して職員で検討の上、子どもたちに回答しているなど、子どもの満足の向上のための仕組みは整備され、それに基づく取組もなされていると判断し、a評価とした。</p>	
	<p>Ⅲ-1-(4) 子どもが意見等を述べやすい体制が確保されている。</p>	
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a・b・c
	<p>&lt;コメント&gt;苦情解決の体制が整備され、ホームページやパンフレット、施設内の掲示物等で連絡方法が子どもや保護者に周知されている。子どもや保護者からは支援に関する苦情が多いが苦情解決取扱要領に基づいて対応しており、苦情の解決へ向けて迅速に対応していると判断し、a評価とした。</p>	
35	Ⅲ-1-(4)-② 子どもが相談や意見を述べやすい環境を整備し、子ども等に周知している。	a・b・c
	<p>&lt;コメント&gt;「意見箱取扱要領」や「苦情解決窓口について」等が整備し、それらに基づき相談や意見を述べやすい環境は提供され、その周知もなされていると判断し、a評価とした。</p>	
36	Ⅲ-1-(4)-③ 子どもからの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a・b・c
	<p>&lt;コメント&gt;「意見箱取扱要領」や「苦情解決取扱要領」に基づいて、相談や意見に対して迅速に対応している。部屋・室長会議での意見や要望にも、可能な限り対応している。これらのことは子どもへのヒアリングからも確認できたので、a評価とした。</p>	
	<p>Ⅲ-1-(5) 安心・安全な治療・支援の実施のための組織的な取組が行われている。</p>	
37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な治療・支援の実施を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a・b・c
	<p>&lt;コメント&gt;リスクマネジメント実施要領、リスク管理規程によりリスクマネジメントの体制や手順等が明確になっており、園内研修等において職員に周知されている。またヒヤリハット報告・事故報告も収集され、改善策・再発防止策の検討・実施もなされていると判断し、a評価とした。</p>	
38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a・b・c
	<p>&lt;コメント&gt;感染症対応マニュアルが策定されており、それに基づき管理体制は整備されている。また研修会等による職員へのマニュアル内容の周知、子どもへの内容を分かりやすく工夫した掲示物など、その取組はよくなされていると判断し、a評価とした。</p>	
39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a・b・c
	<p>&lt;コメント&gt;整備された事業継続計画、消防計画、防災マニュアル、避難訓練実施計画等に基づき、災害時の子どもの安全確保の取組は組織的になされていると判断し、a評価とした。</p>	

### Ⅲ-2 治療・支援の質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 治療・支援の標準的な実施方法が確立している。		
40	Ⅲ-2-(1)-① 治療・支援について標準的な実施方法が文書化され治療・支援が実施されている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;治療・支援について施設の標準的サービスは文書化されている。子どもの権利擁護やプライバシー保護に関わる姿勢が明示され、園内研修等で周知され、それに基づいた治療・支援が実施されていると判断し、a評価とした。</p>		
41	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;標準的な実施方法については「山口県みほり学園における標準的サービス（実施要領）」が整備され、それに基づきケース会議や担当者会議、また各部会等が機能している。しかしながら、ここでの問いである実施方法の見直しの仕組みに関する記載は不十分であり、確立しているとは言えないと判断し、b評価とした。</p>		
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより自立支援計画が策定されている。		
42	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく個別的な自立支援計画を適切に策定している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;個々の子どもへのアセスメントを行い、それを踏まえての嘱託医や組織外部の児童相談所職員等も交えた定期的なケース会議を実施している。その内容に基づき子どものニーズに即した自立支援計画を策定していると判断し、a評価とした。</p>		
43	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に自立支援計画の評価・見直しを行っている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;自立支援計画は概ね年2回（半年毎に）ケース会議で評価・見直しをし、必要に応じて指導部会でも課題検討を実施していると判断し、a評価とした。</p>		
Ⅲ-2-(3) 治療・支援の実施の記録が適切に行われている。		
44	Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する治療・支援の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;子どもの日々の記録は、施設が定める統一した様式に記録し、ネットワークシステムを活用して職員間で情報共有が図られるなどにより、治療・支援の実施の記録は適切に行われ、共有化されていると判断し、a評価とした。なお、日誌・支援計画・ケース記録等、子どもに関する記録の取扱要領を策定されると、治療・支援の実施状況の共有化に役立つと思われる。</p>		
45	Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;「入所児童の生活上のプライバシーについて」及び「山口県みほり学園個人情報取扱要領」が定められており、そこには責任者等の明記もある。保護者への説明もなされ、職員への周知も施設内研修等でなされており、記録の管理体制は確立していると判断し、a評価とした。</p>		

## 内容評価基準（20項目）

※「共通評価基準評価対象Ⅲ 適切な治療・支援の実施」の付加項目

### A-1 子どもの最善の利益に向けた治療・支援

		第三者評価結果
A-1-(1) 子どもの尊重と最善の利益の考慮		
A①	A-1-(1)-① 一人ひとりの子どもの最善の利益を目指した治療・支援が、総合環境療法を踏まえた多職種連携の取り組みで実践されている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;子どもに関する課題解決に向けて、心理治療・生活指導・学校教育など多方面の観点から支援がされており、また職員の活動状況や記録からも随時適切な対応がされていると判断し、a評価とした。</p>		
A②	A-1-(1)-② 子どもと職員との間に信頼関係を構築し、生活体験を通して発達段階や課題を考慮した支援を行っている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;子どもとしっかりとコミュニケーションを図り、日々の心理や行動について理解し、個別の対応ができています。また児童の相談や要望を聴き取り、自ら学べるよう支援されていると判断し、a評価とした。</p>		
A③	A-1-(1)-③ 子どもの発達段階に応じて、さまざまな生活技術が身に付くよう支援している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;子どもが社会生活を送るためのマナーや金銭管理について、発達段階に応じて個別の対応をされ、身に付けられるよう取り組まれている。体験を通して社会情勢を踏まえた学びと活動の取り組みを子どもと一緒にされている。これらのことからa評価とした。</p>		
A④	A-1-(1)-④ 子どもに暴力・不適応行動などの行動上の問題があった場合には、適切に対応している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;子どもの心理・行動を観察し、多職種連携で問題解決に努められている。また課題解決にあたっては、マニュアルに沿って対応し、記録を残し、職員等への周知が図られているなど、適切な対応がなされていると判断し、a評価とした。</p>		
A-1-(2) 子どもの意向への配慮や主体性の育成		
A⑤	A-1-(2)-① 日常生活のあり方について、子ども自身が自分たちのこととして主体的に考えるよう支援している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;部屋室長会議を月1回実施し、子どもが主体的に生活について考える場を設けられている。また、サッカー大会やクリスマス会などの行事を子どもたち自ら企画・準備、実施する活動の機会も増やすなど、子どもからの要望は検討され、適切な対応がなされていると判断し、a評価とした。</p>		
A⑥	A-1-(2)-② 子どもの協調性を養い、他者と心地よく過ごすためのマナーや心遣いができるように支援している。	a・b・c

<p>&lt;コメント&gt;「生活のしおり」や「みほり学園ルールブック」を使用し、年齢や場面ごとに学ぶことができるよう対応されていると判断し、a評価とした。</p>		
<p>A-1-(3) 子どもの権利擁護・支援</p>		
A⑦	A-1-(3)-① 子どもの権利擁護に関する取り組みが徹底されている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;子どもの権利擁護について職員に周知が図られており、社会情勢や人権侵害等について職員研修の実施などにより意識向上に努められていると判断し、a評価とした。</p>		
A⑧	A-1-(3)-② 子どもに対し、権利について正しく理解できるように支援している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;意見箱の設置や苦情解決窓口について、日頃からの子どもとの関わりの中で分かりやすく説明されている。定期的な子どもへの聞き取りや必要な場面での人権についての対応も行われていると判断し、a評価とした。</p>		
<p>A-1-(4) 被措置児童虐待の防止等</p>		
A⑨	A-1-(4)-① 子どもに対する不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;虐待防止マニュアルの周知や委員会の開催、研修を実施するとともに、日常的な観察、引継ぎ等で連絡を密にし、防止と早期発見に努められていると判断し、a評価とした。</p>		

## A-2 生活・健康・学習支援

<p>A-2-(1) 食生活</p>		
A⑩	A-2-(1)-① 食事をおいしく楽しく食べられるよう工夫し、栄養管理にも十分な配慮を行っている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;食への楽しみが感じられるメニュー表や成分表の掲示、また年齢に応じた掲示物の作成や郷土料理の紹介などの工夫がされている。また、美味しく食べられるよう温度管理の取り組みがされており、栄養管理についても子どもと一緒に取り組める工夫がされていると判断し、a評価とした。</p>		
<p>A-2-(2) 衣生活</p>		
A⑪	A-2-(2)-① 子どもが衣習慣を習得し、衣服を通じて適切に自己表現できるように支援している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;年齢相応な服装や身だしなみ、持ち物についてマナー講座やルールを設けて、自分で好みのものが選択できるようにされている。また、リービングケアにおいて実際に購入する機会が設けられているなどから、a評価とした。</p>		
<p>A-2-(3) 住生活</p>		
A⑫	A-2-(3)-① 居室等施設全体を、生活の場として安全性や快適さに配慮したものになっている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;トイレや洗面台等部分的な改修工事は行われていたが、一般的な生活環境を考えると居室、浴室など他の居住部分において不十分さが感じられた。子どもの安全と快適さを考慮した取り組みが望まれると判断し、b評価とした。</p>		
A⑬	A-2-(3)-② 発達段階に応じて居室等の整理整頓、掃除等の習慣	a・b・c

	が定着するよう支援している。	
<p>&lt;コメント&gt;掃除時間を毎日設け、居室だけでなく廊下やトイレ・浴室等の清潔保持がされている。また、簡単な修理を体験し、使用するものの大切さを学ぶ習慣の取り組みがされているなど、適切に支援がなされていると判断し、a評価とした。</p>		
A-2-(4) 健康と安全		
A⑭	A-2-(4)-① 発達段階に応じて、身体の健康（清潔、病気、事故等）について自己管理ができるよう支援している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;子ども自身が健康について学べるよう、記録をつけたりシールを活用するなど年齢に応じた工夫がされている。また、事故等の安全対策については、日頃から子どもへの学びの機会を作り、学校との連携体制が整えられているなどから、a評価とした。</p>		
A⑮	A-2-(4)-② 医療機関と連携して一人ひとりの子どもに対する心身の健康を管理するとともに、異常がある場合は適切に対応している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;子どもの健康を考え医師や看護職員、養護教諭が連携し、受診や服薬管理がされており、服薬に変更がある場合は子どもに説明している。またアレルギーや事故予防の対応についても栄養士や生活指導部との連携が図られていると判断し、a評価とした。</p>		
A-2-(5) 性に関する支援等		
A⑯	A-2-(5)-① 子どもの年齢・発達段階等に応じて、性をめぐる課題に関する支援等の機会を設けている。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;不適切な行動の予防・発見に努め、職員の積極的な研修参加が行われ、共通認識が図られている。また発達段階や性に関する個別課題に応じて、教材等を用いた教育や犯罪防止の観点からの指導など、個別対応への取り組みがされている。児童相談所や心理士と協働での支援がなされている。これらのことから性に関する支援等は適切に行われていると判断し、a評価とした。</p>		
A-2-(6) 学習支援、進路支援等		
A⑰	A-2-(6)-① 学習環境の整備を行い、学力等に応じた学習支援に取り組み、「最善の利益」にかなった進路の自己決定ができるよう支援している。	a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;子どもの意向を尊重した学習支援の対応がされている。居室の使い方や学習時間など一人ひとりの学びの意欲を引き出し、学習能力を高めるプログラムへの取り組みがされている。進路選択については、子ども・保護者の意見を踏まえ、学校や児童相談所と連携しながら自己選択ができるよう支援されている。これらのことから学習並びに進路等に関する支援等は適切に行われていると判断し、a評価とした。</p>		

### A-3 通所支援

A-3-(1) 通所による支援		
A⑱	A-3-(1)-① 施設の治療的機能である生活支援や心理的ケアなどにより、通所による支援を行っている。	該当なし
<コメント>		

#### A-4 支援の継続性とアフターケア

A-4-(1) 親子関係の再構築支援等		
A⑱	A-4-(1)-① 施設は家族との信頼関係づくりに取り組み、家族からの相談に応じる体制を確立し、家族関係の再構築に向けて支援している。	a・ <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">b</span> ・c
<p>&lt;コメント&gt;保護者会の開催や日頃から保護者と連絡を取り合うなどにより、家族との信頼関係づくりに努められている。しかし、親子が必要な期間一緒に過ごすための施設内の環境整備への取り組みは不十分と判断し、b評価とした。</p>		
A㉓	A-4-(1)-② 子どもが安定した生活を送ることができるよう退所後の支援を行っている。	<span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">a</span> ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;アフターケアについての記録が取られ、退所後の措置変更先の施設や関係機関と連携して情報把握に努めている。また、家族への支援も行われているなどから、退所後の支援は適切に行われていると判断し、a評価とした。</p>		